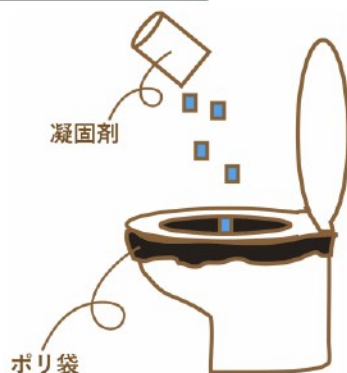


「ハイムだよりNo.114」より抜粋

防災メモコーナー②



今日、トイレを何度ご利用になりましたか？

災害が起きた日でもトイレを我慢することはできません。

住戸ごとに災害時用を用意しておきましょう。

これまでの理事会や防災会からの発信でご存じのように、大地震時当マンションの防災の考え方は原則自宅においての自宅避難（待機）ですので、食料や水は1～数週間分備蓄されているご家庭もあるかと思います。ではトイレはどうでしょう。

災害が起きた瞬間から我慢出来ても半日です。ところが災害発生時の断水は被害の規模により数週間にわたる場合もあります。また、無理に流して排水管のどこかに損傷があれば下階に污水が漏れますし、下水管の破損も考えられます。川崎市のゴミ収集が行われない期間は当マンションのゴミ置き場

も閉鎖せざるを得ず、ご自宅でのトイレゴミ保管が基本になります。普通のビニール袋に入れて自宅バルコニー等に保管すると毎日溜まる家族分の袋は、（お隣とは隔て板1枚ですから）悪臭も心配になります。

災害が起きた日も安心して生活できるように、悪臭や漏れの心配が少ない「高分子吸水ポリマー凝固剤、ポリ袋、消臭剤等」のセットになった防災用簡易（携帯）トイレを用意しておきましょう。自宅のトイレに被せて使用する比較的安価なものもあり、種類も様々販売されています。

※用意する目安は（家族人数×トイレ利用回数×7日間）と書いてある防災サイトがありました。